

# 稚内市立潮見が丘小学校

指定年度：H30～  
児童数：374名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 教育理念や経営方針の浸透

新学習指導要領で求められている資質・能力を子どもに育てるためには、学校の経営方針や教育目標を明確にし、家庭や地域と共有していくことが重要であり、本校では、新学習指導要領の全面实施に合わせて、保護者や地域関係者に期待する学校像や子ども像についてアンケートを実施し、その結果を踏まえて学校の教育目標を見直すとともに、保護者や地域住民向けのグランドデザインを作成し、配布するなどして、教育理念や経営方針の浸透を図っている。

また、学校での生活や学習などに関わる基本的なルールを示した「よくわかる！潮見が丘小学校」を作成し、保護者に説明するほか、Web ページに掲載している。

さらに、定期的に Web ページや学校便り等で、グランドデザインの重点的な取組（学力保障、学校の新しい生活様式など）に係る子どもの様子を写真や文章で積極的に発信している。

### ② 協働意識の高揚

校長の方針に基づく教育活動を学校全体で推進していくためには、教職員一人一人の学校経営に対する参画意識や協働意識を高めていくことが重要であり、本校では、校長の方針に基づく取組を共有する体制を整備するとともに、教職員向けの校長室通信を配信し、校長としての考え方を全教職員に伝えている。

校内体制の整備では、毎日、管理職と各分掌部長等による打合せを行っている。打合せは、短時間で終わることができるよう内容を厳選したり、内容によって養護教諭や事務職員を加えたりするなどして迅速な実施に努めている。

校長室通信では、教育の動向や校長としての方針の考え方、各種調査結果に対する校長の考え方などを具体的に示し、全教職員が同じベクトルを向いて組織的に取り組めるようにしている。

### ③ 授業スタイルの共有

学校の教育目標の具現化を図るためには、全教職員が一体となって教育活動の充実に努めることが重要であり、本校では、初任者及び異動してきた教職員を含め、全教職員が児童や保護者に対して共通した指導や対応を行うことができるよう、指導のアウトラインを整理した「よくわかる！潮小（教職員編）」を作成し、全教職員で共通・一貫・徹底・継続した指導を行っている。

取組の推進に当たっては、各学年部長に、定期的に指導の状況や児童の変容を確認し、指導が不十分な場合は改善策を検討するよう指示している。



〔保護者・地域向けグランドデザイン〕



〔よくわかる！潮見が丘小学校〕



〔校長室通信「YAMU-WAKKANAI」〕



〔よくわかる！潮小（教職員編）〕

## 2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

□教職員や保護者等に対して、様々な方法で経営方針や課題解決に向けた取組などを発信してきたことにより、学校評価の「学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かりますか」の設問について、約 95%の保護者が肯定的な回答をした。

□全教職員で共有した授業スタイルを徹底・継続するとともに、定期的に確認・改善を図りながら授業改善を進めたことにより、児童アンケートの「授業がよく分かりますか」の設問について、約 85%の児童が肯定的な回答をした。

■教育の質の向上を目的とする働き方改革を推進するため、各分掌等の業務や教育課程の内容等を見直したり、精選したりするなどし、教職員一人一人が担当する業務を遂行する時間を確保する必要がある。